

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度西東京市介護保険運営協議会第 3 回会議
開催日時	平成 29 年 2 月 9 日（木曜日）午後 1 時 00 分から午後 2 時 55 分まで
開催場所	田無庁舎 3 階庁議室
出席者	（委 員）金子委員長、須加副委員長、赤司委員、浅野委員、石塚委員、伊藤委員、内田委員、梅田委員、海老澤委員、小平委員、指田委員、高岡委員、高橋委員、武田委員、平松委員、前川委員、松本委員 （事務局）健康福祉部長、ささえあい・健康づくり担当部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長、以下 6 名
議 題	（１）第 2 回会議録の確認 （２）第 7 期計画策定のためのアンケート調査結果について （３）第 6 期計画の進捗状況について （４）計画策定方針にかかる国の動向について （５）その他
会議資料 の 名 称	事前配布資料 資料 1 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）進捗管理表 資料 2 計画策定方針にかかる国の動向について ・介護保険運営協議会第 2 回会議 会議録（案） 当日配布資料 資料 1－2 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）進捗管理表（抜粋版） 資料 3 西東京市高齢者保健福祉計画策定のための市民アンケート調査結果（確定） 資料 3－2 西東京市高齢者保健福祉計画策定のための市民アンケート調査回収状況 ・地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案のポイント
記録方法	☐ 全文記 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録

会 議 内 容
1 開 会 2 配布資料の確認 3 議 題 （１）第２回会議録の確認 ○委員長： 内容について修正・変更はなしということで承認をいただいた。 ○事務局： 承認をいただいたので、各情報公開コーナーでの閲覧の手続きをとる。 （２）第７期計画策定のためのアンケート調査結果について ○委員長： 議題（２）第７期計画策定のためのアンケート調査結果について、事務局より説明をお願いしたい。 ○事務局： 第７期計画策定のためのアンケート調査について説明。（資料３） ○委員長： ご質問、ご意見等あればお願いしたい。 ○委員： 無回答が多すぎるのではないか。無回答が一番多い項目もいくつかある。設問の方法次第でもう少し回答が得られるのではないか。折角アンケートを行っているのにもったいない。 ⑦サービス事業者調査や⑧介護支援専門員調査の回収率が非常に低いと感じた。どのような形で依頼、回収を行ったのか。 ○事務局： 無回答が多い項目については、次回以降、質問の方法などを工夫し、できるだけ具体的な回答をいただけるよう検討したい。 サービス事業者と介護支援専門員の回収率が低いというご指摘については、前回もやはり回収率は高くなかった。今回は事業所の分科会等でお知らせや督促を行った。前回よりも督促等は行ったが、残念ながらあまり回収率は上がらなかった。次回に向けて、回収率が上がるような工夫をしたいと考えている。

○委員：

事務局がよくやっているのは見える。市報を見ても、分かりやすく、努力していると思う。それでもどうにもならないことはある。委員はそれぞれ専門のところから集まってきたので、もう少し現場の声を聞くことが大事ではないか。どこに原因があるのか、次回の参考になるのではないかと思う。

○委員長：

今後の方向性を話し合う中で、アンケートの数字の裏にどのような理由があるのか、委員それぞれの出身母体、推薦母体の話も聞きながら進めていければと思っている。

やはり新しい情報が欲しいということが色々な場面で指摘されている。今までもおそらく西東京市として様々な媒体を通して情報提供を行っていると思うが、指摘があったとおり、それぞれの出身母体を通して情報を伝えていけば、かなりの部分にまで行きわたるのではないか。情報提供というのはなかなか難しい。どこまで情報を伝えたら伝わったと認識されるのか、新しいとは一体どこまでのことなのか。また、専門的な語句を用いて伝えても、内容としてなかなか理解できないという問題もある。

○事務局：

前回と同様のクロス集計は行う予定。1週間という短い期間になるが、ご意見やクロス集計の案があったら、電話やメール等でお寄せいただきたい。

○委員：

知らなかったという回答が非常に多いと感じた。アンケート調査結果として残すかどうかは別だが、もし可能であれば、他所の地域と違うのか調べてみてはどうか。西東京市だけならば努力のしようもあるが、他所でも同じような状況ならば、別の視点も考えなければならない。

○事務局：

知られていない事業自体にどのくらいの歴史があるのか、西東京市ならではのものなのかといったことも含めて分析ができればと思う。報告書への掲載は難しいが、委員の皆様にはそういったこともご紹介できるようにしたい。

○委員長：

このアンケート調査を年度末までに報告書として取りまとめて、年度明けに皆様にお配りする。事務局からのお願いにあったとおり、皆様からご意見やクロス集計案について、1週間という短い期間ではあるが、期間内で事務局にご連絡いただきたい。長い場合にはメールやファクシミリ等で文書化してお送りいただいた方が、事務局としても間違いなく回答でき

と思う。

(3) 第6期計画の進捗状況について

○委員長：

議題(3) 第6期計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

第6期計画の進捗状況について説明。(資料1、資料1-2)

○委員長：

事務局からの報告について、ご意見、ご質問等お受けしたい。

○委員：

資料1を見て、西東京市は色々な施策に取り組んでいることが分かった。それを踏まえて、項目がこれだけ多いと、緊急性や重要度等で何かウェイト付けはしているのか。

評価は、内部評価になっているが、外部からの評価は行っていないのか。

資料1の1ページに「社会福祉協議会ボランティア市民活動センター」と「市民協働推進センター」があるが、違いを理解いただいているのか。

「いきいきミニデイ」が廃止されるということになっているが、市民の評判は良いのではないかと思う。廃止理由を教えてください。

○事務局：

多くの施策があるが、第6期計画では重点施策という形で3つに重きを置いている。(1) 介護予防の推進、(2) 地域の力を活かした支え合いの取組(認知症の人とその家族への支援を含む)、(3) 在宅療養の推進を重点施策として掲げている。

今のところ担当課や係の内部評価となっており、外部評価は行っていない。分析についても同様。

「いきいきミニデイ」については、現在、50団体ぐらいが登録されて活動している。高齢化が進んでおり、なかなか運営がうまくいかないところもある。総合事業という新しい事業が始まり、介護保険の方で「まちなか憩いのサロン」という通いの場をつくっている。ミニデイは新規の加入を行っていない。現在活動されているミニデイの方々はそのまま継続して活動している。

○委員：

地域包括ケアの仕組みを考えるとときには、高齢者の方々が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むということがメインになる。今住んでいる方はもちろん住み続けるという言い方がいいが、西東京市への住み替えを考える方もこれからは出てくるのではないかと思う。第

6期計画からも高齢者人口は増えているように見えるが、単に市内に住んでいる方の高齢化だけではなくて、西東京が良いからということで流入してくるような高齢者についても考えているか。

資料1の12ページに住宅対策のことが書かれている。民間のアパートなどについては、高齢者だからといって拒否をしないようにということが必要。これから西東京市に住もうという方については、サービス付き高齢者向け住宅や空き家住宅の活用などが考えられるのではないかと思う。東京都でも居住支援協議会が設立されている。西東京市では、住もうという方に対する支援についてどう考えているのか。把握している課題などもあればお聞きしたい。

○事務局：

高齢者だけの状況は手元にデータがないが、西東京市は転入、転出が非常に多い。サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームも増えてきている。ご存知のとおり、他市から施設等に入ってくる65歳以上の方については、市の財政を使わずに前住所地が給付費等を負担する住所地特例があり、ある程度は流入があっても市の負担にならない制度にはなっている。

東京都の居住支援協議会には部課長が出席している。討議の内容等も含めて、今後ご紹介できればと考えている。シルバーピア等が紹介されているが、どうやって入居率を上げていくかなども検討しているところ。新たな動きが出たらご紹介したい。

○委員長：

国勢調査でも西東京市は人口の増加率が非常に高かった。これからも入ってくる可能性が当然ある。色々な住宅施策を行っても、結局は高齢者が外出できるかどうかが重要。買い物や病院等へのアクセスにはやはり公共交通機関の充実が必要で、そうでないとアクセス権の侵害等色々な問題が出てくる。そういったものをトータルに考えてまちづくりを進めてほしい。

(No.45「在宅療養、終末期・看取りについての意識啓発」について) 看取りはやはり大事。私どもの大学においても、既に十数年前からターミナルケアやグリーフワークを日本でも早い段階で授業として展開している。それを公開講座等として出すと、葬儀屋さん、自衛隊員あるいは救急隊員の方々が受けに来る。かなり前からニーズはあるので、タブー視されているという認識ではなく、積極的に取り組んでいただきたい。緩和ケア等の問題もある。住み慣れたまちで終末を迎えたいという人たちが多く出てくると思う。このまちに住んで良かったというまちづくりを様々な機会にご検討いただければ有難い。

(4) 計画策定方針にかかる国の動向について

○委員長：

議題(4) 計画策定方針にかかる国の動向について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

計画策定方針にかかる国の動向について説明。（資料「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案のポイント」）

○委員：

定義をきちんと説明してもらいたい。例えば、「地域共生社会」とあるが、地域においてどういうイメージになるのか。また、「協働」とあるが、専門用語で一般にはあまり理解がない。

○事務局：

市民には分かりづらい表現だと理解している。実際に計画をつくっていく中で、分かりやすい言葉に置き換えていきたいと考えている。

○委員長：

国がどのように言葉を使っているのか、法案の提案理由などで資料の中に定義等のことも出てくると思う。また新たな動きが出たらお知らせしたい。

（５）その他

○委員長：

議題（５）「その他」について、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：

今回の日程は、５月１１日（木）午後１時から田無庁舎３階の庁議室にて開催とする。介護保険事業計画については、改めて市長から諮問させていただく。

○委員長：

以上で第３回介護保険運営協議会を終了する。